

ふかがわ 市議会 だより

第4回定例会(令和6年12月5日～16日)

- ◆可決した条例、補正予算など……………2～3P
- ◆こども向け「おしえてしぎかい」……………4～5P
- ◆一般質問……………6～13P
- ◆複合施設整備特別委員会中間報告……………14P

No. 259 2025・2

発行 深川市議会 令和7年2月6日発行
編集 広報編集委員会

撮影地:北一已駅付近の踏切





※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
 ※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、議員発議、決議以外のものを付議事件としています。

Pick Up
議員発議 深川市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定 **全会一致**

地方自治体の議員個人が、その自治体に対して請負をすることは地方自治法で禁止されていましたが、地方議員の成り手不足への対応のため、その規制が緩和され、各会計年度において300万円を超えない範囲であれば議員個人による自治体に対する請負が可能となりました。そこで深川市議会では、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、深川市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定しました。

条例の主な内容

- 議員は毎年6月中に、前年度における深川市に対する請負内容（下記①～④）を議長に報告しなければなりません
- ①対象とする役務・物件等 ②契約締結日 ③契約金額 ④前年度において受けた支払いの総額
- 本条例は令和6年度における請負から適用され、7年度からホームページ等で請負状況を公表します
- 議長は報告書を5年間保存し、報告の一覧を作成・公表しなければなりません
- どなたでも議長に対して、報告書の閲覧や写しの交付を請求できます

Pick Up
委員会設置の決議 地方創生特別委員会を設置 **全会一致**

- 委員長 北村 薫
- 副委員長 田畑 陽
- 委員 村上 誠 旺雄 夫
新田 時 一
山本 雄 夫
佐々木 一



現行の第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に対しては、令和元年度の計画策定作業やその後の効果検証において、深川市議会でも十分な審議が行われてきた経過があり、今後予定されている（仮称）第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たっても、幅広く必要な調査を行っていく必要があるため、第4回定例会初日の令和6年12月5日に、地方創生特別委員会を設置しました。

【条例】

■深川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 **全会一致**

北空知における地域包括ケアシステムの中心を担う市立病院では、今後を見据えた高齢化社会への対応として、日常生活に際したリハビリテーションの実施や自立の促進、利用者とその家族の心理的なサポートなどの支援を行う、訪問リハビリテーション事業を令和7年1月より開始するものです。

■特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **賛成多数**

北空知衛生センター組合の施設修繕等において、市の派遣職員が、法令等の規定に反する不適切な事務処理を行い、多額な施工代金の未払いを生じさせ、事業者に対し、その代金を賠償金として支払うことになりました。この事態を重大なものと受けとめ、組合長である市長の給料月額10%を令和7年1月1日から2月28日までの2か月間、減額するものです。

■深川市下水道条例の一部を改正する条例 **全会一致**

下水道使用料については、平成10年4月の改定以降、26年間にわたり据え置いてきましたが、下水道事業の健全な経営を確保することを目的に令和7年度から11年度までの5年間の下水道事業の収支計画を策定したところ、物価高騰等による維持管理費の増加、人口減少に伴う使用料収入の減少により欠損金が増加し、現状の使用料を継続すると事業の継続が困難であり、深川市上下水道経営審議会からも使用料を約25%引き上げる改定が必要であるとの答申を受けたことから、使用料を令和7年4月1日から、一般用は、基本使用料8立方メートルまで税込み1837円、超過使用料1立方メートルにつき税込み242円に、浴場用は、基本使用料1立方メートルにつき税込み45円にそれぞれ引き上げるものです。

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はホームページで確認できます。

議決結果

【意見書】
 内閣総理大臣などに送付しました。

- 将来に希望が持てる次期食料・農業・農村基本計画の改定と現場に寄り添った農業政策の実現を求める意見書
- 選択的夫婦別姓制度の法制化を早期に求める意見書

賛否が分かれた議案		議員名（議席番号順）												議決結果		
		伊藤美恵子	新田 旺	有働 正夫	村上 誠	松原やす子	佐々木一夫	大前 昭代	田畑 陽美	北村 薫	近沢 弘幸	鶴岡 恵司	宮澤 孝司		松本 雅祐	山本 時雄
第4回定例会	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※賛成=○、反対=●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

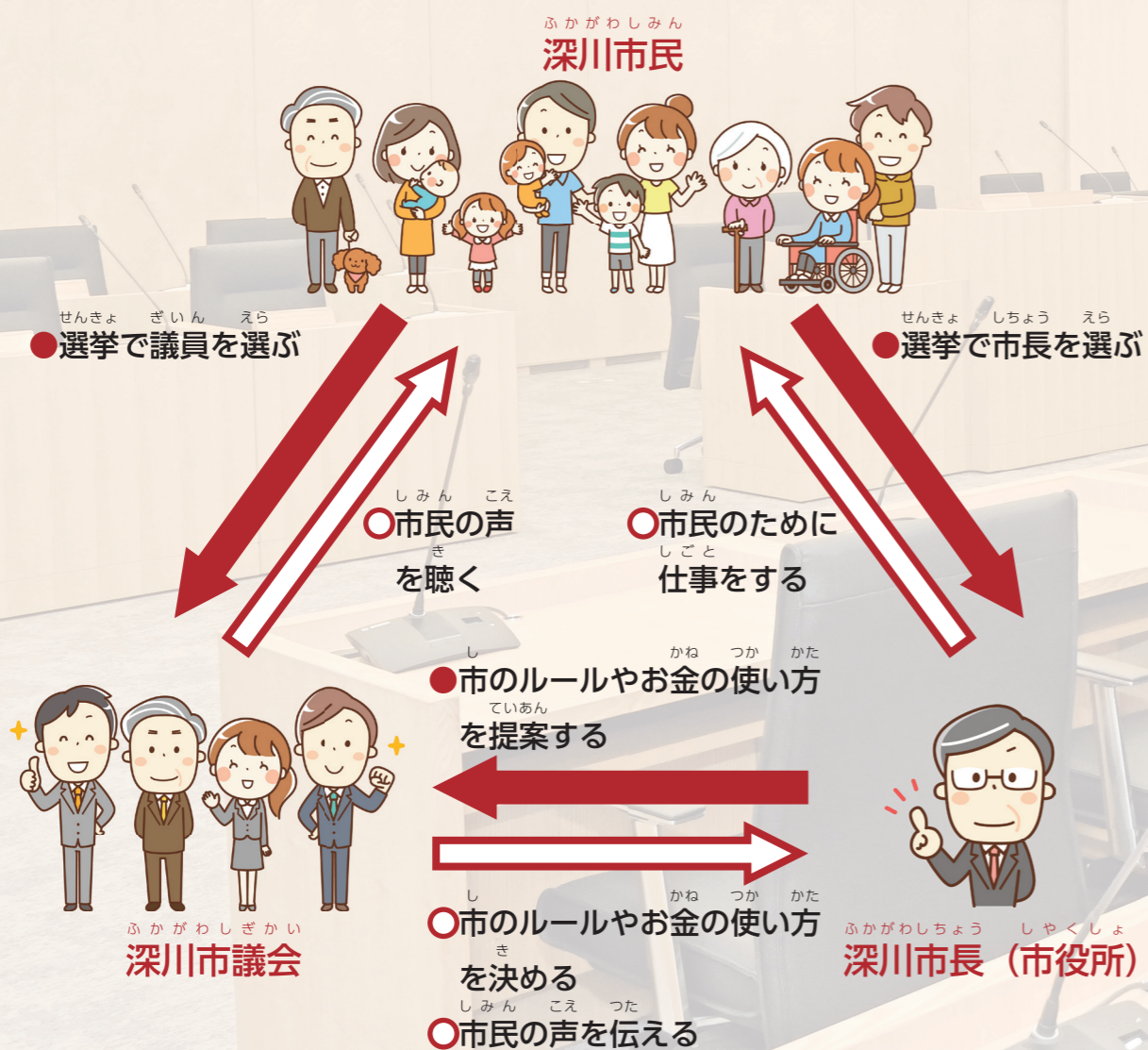
しみん しちょう しぎかい かんけい
市民・市長・市議会の関係

議会ってなあに？

今号では、深川市議会についてこどもにも分かりやすく説明します

小学校などでは学級会を開いて、クラス全員で話し合い、ルールを決めることがあると思います。私たちが住んでいる深川市をもっと住みやすい町にしていくために、市民みんなで集まって話し合うことが理想ですが、それはとても大変です。

そこで、18歳以上の市民の投票により、市民の代表者として市議会議員を選挙で選びます。深川市には14人の市議会議員がいますが、その選ばれた市議会議員が集まって話し合いをするところが市議会です。



2月6日(木)

市議会は



市民の代表として

市長から提案された

市のルールやお金の使い方など

について話し合い、決定する

議決機関です

例えば

新しい公園を造ること

学校の設備をどうするか

などを話し合い、決定します

市議会議員の仕事は

1. ルールを決める

市で守るべきルール(条例)を

決めます

2. お金の使い方を決める

市のお金(予算)の使い方を

決めます(例:学校の修理費)

3. 市の仕事をチェック

市長や市の職員が

きちんと仕事をしているか

お金は正しく使われているか

をチェックします

4. 市民の声を聴く

市民の意見や要望を聴き

それを実現するための

方法について

市議会では話し合います

質問した事項

第4回定例会で行った9人の議員の一般質問を紹介... 掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。

深川市議会 YouTube チャンネル



一般質問通告表



- 有働 正夫 議員...06
・小学校への農業科の導入は
・農業での外国人材の働き方について
■大前 昭代 議員...07
・上下水道管の耐震化状況は
・ICT教育の情報セキュリティは
■村上 誠 議員...08
・増収増益技術の導入支援を
・国内外企業のさらなる誘致の促進を
■山本 時雄 議員...08
・ふるさと納税について
・財政運営の経過と今後の見通しは
■田畑 陽美 議員...09
・地域の支え合いについて
・こども食堂への支援と連携の考えは
■新田 旺 議員...10
・エキノコックス症の対策を
・習い事などに通う移動手段の確保を
■宮澤 孝司 議員...10
・部活動の地域移行について
・キャッシュレスによる消費喚起策は
■佐々木一夫 議員...11
・資格確認書の交付について
・マイナ保険証の解除方法と市民周知
■伊藤美恵子 議員...12
・子育て支援策の評価と今後
・乳幼児期における読書活動の推進を



うどうまさお 有働正夫 議員 「公政クラブ」

小学校への農業科の導入は 農業学習の内容充実を検討

農業分野における外国人材の受入れ：北海道HP



農業体験学習の様子

◎ 福島県喜多方市の小学校では、全国初となる農業科が導入され、農作物の栽培を通じて様々な学びが得られている。地域の農業を守る対策の一つとして、市内の小学校に農業科を導入する考えを伺う。
A 小学校の教育課程では、3年生から6年生の

間に設けられる総合的な学習の時間において、田植えや稲刈りなどの農業体験が行われており、年間の授業時間は、学校や学年によって異なりますが、多くの時間を農業学習に充てています。本市の基幹産業である農業を継続していくため、教育委員会としても、農業に

関する体験や学習の重要性を認識し、市民への周知方法や内容の充実を検討してまいります。
◎ 農業での外国人材の働き方について
農繁期の人手不足は深刻な状況にあり、外国人材の受入れが有効だと考えるが、北海道では通

年雇用が難しい。その対策として、産地間人材リレーの取組が注目されているが、深川市の考えを伺う。
A 本市は労働力不足対策として、農業団体と連携し雇用就業対策や1日農業アルバイトの取組に対する支援などを行っています。さらなる対策

として、外国人材の活用を含めた、労働力確保は非常に重要であると考えています。このため、外国人材の冬期雇用の課題などを解消できる産地間人材リレーは、非常に有効な取組だと考えますので、これらを参考にしながら、取組の可能性について研究してまいります。



おおまえあきよ 大前昭代 議員 「民主クラブ」

上下水道管の耐震化状況は 効率的に耐震管路を整備中

◎ 近年、自然災害が多発しており、上下水道管の老朽化と耐震性の低さが問題視されている。耐震性の高い上下水道管への更新や対策強化を推進する必要があると考えるが、現在の耐震化の状況を伺う。
A 上下水道施設の耐震化率は、送水管など基幹管

路で43・5%、管路全体に対して約6%が実施済みで、北空知広域水道企業団においても施設の耐震化が計画的に進められています。下水道施設は、耐震設計を必要とされなかった平成9年度以前に布設した管路が多く、耐震化は進んでいませんが、深川浄化センターの管理

棟は耐震化を行っており、近年は無電柱化事業などと連携し効率的かつ経済的に耐震管路の整備を進めています。
◎ ICT教育の情報セキュリティは
全国でICT教育が推進される中、情報セキュリティ対策が十分に

はないとの指摘もある。児童生徒の個人情報を守るため、国の支援制度を活用し、情報セキュリティ対策を強化する考えを伺う。
A 本市では、市全体の情報セキュリティポリシーを策定していましたが、令和6年4月の改正により教育委員会が対象

ICTを活用した教育の推進：市HP



タブレット端末を活用した授業風景

から外れ、現在、教育委員会において教育情報セキュリティポリシーの策定作業を進めています。策定に当たっては、国の支援事業の活用も検討し、策定後は、本ポリシーに基づいた対策の実施や適宜見直しを行い、児童生徒や保護者が安心できる環境整備に努めます。



村上 誠 議員
「公政クラブ」

増収増益技術の導入支援を 新技術導入支援を検討する

◎ 離農者数を抑え、新規就農者を増やすためには増収増益技術が必要である。新技術の導入にはリスクを伴うことから、試験的な導入に対して、市からの支援が重要と捉えているが、市の考えを伺う。

想定され、生産者にとつては非常にリスクがある取組と考えますが、生産者の所得増大による経営の安定などにつながるものであり、本市農業の持続的発展を図る上で、非常に重要な取組と考えています。このため、新技術の導入を市が後押しできるように、生産者の希望

に依りて、試験事例等の調査、農業センター等における試験の実施について検討していきます。

◎ 国内外企業のさらなる誘致の促進を

◎ 若者の人口を増やすためには、就職先の確保が必須であり、本市では、企業誘致に力を入れてい

と認識している。今後は、外国企業の誘致も視野に入れた環境整備が必要と思うが、市の考えを伺う。

企業立地の御案内：市HP



市農業センターのスマート農業機械



山本時雄 議員
「令和公明クラブ」

ふるさと納税について 寄附金額は前年度の約2倍

◎ 市政運営の財源となる、ふるさと納税は、令和6年度には2回の補正予算が組まれ、寄附額が10億円を超えている。また、寄附件数も増加しているが、令和6年10月末現在の寄附状況と今後の見通しを伺う。

◎ 10月末時点で、寄附金額は前年度最終実績の約2倍となる12億3000万円に達しており、返礼品の主力であるお米は、リピーターや新規寄附者の獲得が図られています。なお、お米が高値で推移している状況もあり、今後の寄附を見通すことは難しいですが、現在も順調に寄附申込みを受け付けており、12月は寄附の

ピークを迎えることから、道内外におけるPR活動に引き続き努めていきます。

◎ 財政運営の経過と今後の見通しは

◎ 田中市政1期目の前半2年が過ぎようとしているが、物価高騰による市民生活への影響が続く

中、市民からは財政運営に対する不安の声が聞かれる。これまでの財政運営の経過と今後の見通しを伺う。

ふるさと納税はこちら：市HP



ふるさと納税PRチラシ



田畑陽美 議員
「民主クラブ」

地域の支え合いについて 研修会を通じニーズを把握

◎ 深川市生活支援協議会が主催する研修会に参加した際、地域の支え合い活動に効果的な様々な意見等が出されていた。研修会で市民から出された意見等を、市政にどのように反映していくのか伺う。

◎ 地域支え合い活動については、調査活動モデ

◎ 地域支え合い活動については、調査活動モデ

◎ 地域支え合い活動については、調査活動モデ

深川子ども未来食堂：深川市社会福祉協議会HP



深川子ども未来食堂の様子

取組は、子供の居場所になり得る新たな試みであります。子供が生き生きと居場所があることは不可欠であるため、全ての子供が様々な学びや体験活動などに接することができるとして、市としても積極的に支援していきたいと考えています。



あきら 新田 議員
「民主クラブ」

エキノコックス症の対策を 感染状況を見極め対応検討

◎ エキノコックス症の感染を未然に防ぐには、小学生などに対する危険性の周知やキツネの検体調査が重要である。また、必要に応じて駆虫薬の散布を検討する必要があると思うが、市の考えを伺う。

学調査として観測定点を設定し、キツネの死体などを検査し調査しており、近年の道内における感染率は40%前後で推移している状況です。現状、市内では感染者が発生しておらず、早急に駆虫薬を散布する必要があると考えられています。後、感染者の状況やキツ

ネの出没頻度などの状況を見極め、対応を検討していきたいと考えます。

◎ 習い事などの多様な移動手段の確保を
◎ スポーツ少年団活動や習い事に通う子供の送迎は、共働きなどを理由に難しい場合がある。ポランテア運送の導入な

エキノコックス症の感染を予防しましょう：市HP



とても大切な事と捉えています。今後も交通事業者等とともに現状と課題の把握に努め、国の地域活性化起業人制度の活用なども視野に入れ、新たなデマンド交通を検討するなど、持続可能な公共交通サービスの確保維持に努めていきたいと思



みやざわたかし 宮澤孝司 議員
「令和公明クラブ」

部活動の地域移行について 必要な調査研究に取り組む

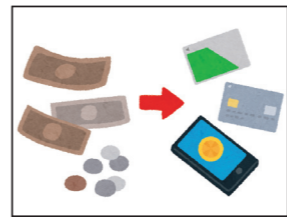
◎ 北空知1市4町及び雨竜町が連携し、部活動の地域移行に向けた検討が行われている。指導者の確保や活動場所への移動手段、各種費用負担などの課題もあるが、現在の取組状況と課題について伺う。

令和6年11月21日に開催し意見交換等を行ったところで、引き続き必要な調査研究に取り組むこととしました。また国は当初、休日の部活動の地域移行を令和7年度末までに達成する案を示していましたが、地域の実情に合わせて可能な限り早期実現を目指すことなどを

示したガイドラインを策定しており、このガイドラインを基本に様々な協議・研究を進めていく予定です。

◎ キャッシュレスによる消費喚起策は
◎ 関係団体等からポイントカードや商品券事業等を含めたキャッシュレス化に向けた要請を受け

部活動の地域移行へ向けた取組：市HP



キャッシュレス決済のイメージ

これらの店舗と利用者のニーズが合致して初めて成功に結び付く事業であることから、関係団体における調整や合意形成が大変重要だと考えております。まずは関係団体でしっかりと情報共有を図り、検討を進める中で、機運を醸成していくことが大切であると考えています。



ささきかずお 佐々木一夫 議員
「れいわ新選組」

資格確認書の交付について 保険証未所有者へ毎年送付

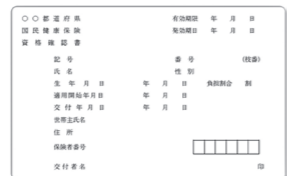
◎ 資格確認書と健康保険証は実質的に同じものであり、マイナ保険証を持たない市民だけには、これからも毎年、少なくとも5年間は、資格確認書が郵送されてくることを確認したいが、いかがか。

マイナンバーカードを健康保険証として利用登録していない方に対しては、毎年送付することなく資格確認書を郵送する予定です。また、今後もマイナンバーカードを健康保険証として利用登録していない方

◎ 令和6年10月28日より、マイナ保険証の利用登録を解除し、健康保険証と同様の機能の資格確認書を受け取れるようになった。この制度変更と

マイナ保険証の解除方法に関する市民周知の考えを伺う。

紙の健康保険証の発行が終了：市HP



資格確認書のイメージ

い方には資格確認書を交付します。マイナンバーカードの健康保険証の利用登録の解除に係る周知については市のホームページに掲載しており、今後、市の広報紙へ掲載するなど周知を図ってまいります。

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■有働 正夫 議員

- ・交換留学について
- ・市職員の定着促進について

■大前 昭代 議員

- ・産前・産後のママさんサポートについて
- ・公共交通について

■村上 誠 議員

- ・地球温暖化対策について
- ・JR留萌本線跡地について

■山本 時雄 議員

- ・車両センターについて
- ・福祉除雪について

■田畑 陽美 議員

- ・消費生活の現状と取組状況について
- ・ファミリーシップ制度等について

■宮澤 孝司 議員

- ・地域の経済状況について
- ・年収の壁引上げについて

■佐々木一夫 議員

- ・道の駅テナントの応募書類について
- ・職員労働組合事務所の使用許可について
- ・複合施設設計のコスト意識について
- ・市内の解体工事業者の優先請負について
- ・空き家の解体とリノベーションについて
- ・市内小学校の統合の推進について

■伊藤美恵子 議員

- ・侵入強盗への防犯対策について
- ・会計年度任用職員の雇用待遇改善について



いとうみえこ 議員
伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

子育て支援策の評価と今後 認知度向上へ取組を継続

◎ 保育料の軽減や給食費の支援など、市が独自に取り組んでいる子育て支援策に対する自己評価と、今後優先的に進めていくべき少子化対策や子育て世帯に寄り添った支援策についての考えを伺う。

▲ 令和5年の合計特殊出生率が全国は1・20、

北海道は1・06と過去最低値を記録する中、深川市は1・28で一定の効果があったと考えますが、全国的に見てもトップレベルの本市の子育て支援策の効果が出し切れていないと感じています。今後は、住民認知度を上げていくための取組として子育ての社会化を推進

し、現在の子育て支援の取組を維持・継続しながら、より効果的な事業展開や拡充も検討していきます。

◎ **乳幼児期における読書活動の推進を**

乳幼児期から本に親しむことを目的としたブックスタート事業に加え、

絵本の読み聞かせを行う黄金期である3歳児に対して、絵本をプレゼントするブックセカンド事業に取り組み考えについて伺う。

▲ 本市ではブックスタート事業として、生後7か月の乳児に布絵本を贈呈しており、令和2年度から5年度までに294

冊の布絵本を贈呈し、全国的に高い評価をいただいています。ブックセカンド事業は全国の多くの自治体で取り組まれ、本市もブックセカンド事業の必要性を認識していることから、対象とする年齢や選書、経費等について検討し、早期に取り組みたいと考えます。

深川市子どもの読書活動推進計画：市HP



ブックスタート事業で贈呈される布絵本

複合施設整備特別委員会 深川駅周辺複合施設建設実施設計を了承

複合施設整備特別委員会では、令和6年第2回定例会において、基本設計についての調査結果の中間報告を行った以降、その基本設計を基とした複合施設の実実施設計の内容について2回の委員会を開催し調査を行いました。

委員会では、利用者に分かりやすい動線の整備や1階オープンスペースの活用、建設費や補助事業の内容、施設使用料の考え方など、様々な質疑や意見が交わされ、最終的な実施設計（案）を委員会として確認し了承しました。

また、令和6年第4回定例会では、これまでの調査経過について、宮澤委員長が中間報告を行いました。

今後は、複合施設の管理運営等に係る検討が進められていくことから、審議等を適切な時期に行うため、継続して調査を行っていきます。

これまでの主な調査・検討経過は以下のとおりです。

～委員会での主な調査経過（令和6年10月以降）～

- | | |
|-----------------|---|
| 第4回（令和6年10月28日） | 基本設計策定後の経過等及び実施設計について調査 |
| 第5回（令和6年11月22日） | 公民館利用サークル説明会の結果、最終的な実施設計を確認し、中間報告を行うことを決定 |



宮澤複合施設整備特別委員長

3つの基本機能を備える複合施設

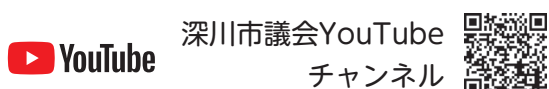
- ① 中央公民館の「生涯学習機能」
- ② バスターミナルの「交通機能」
- ③ まちなかのにぎわいを創出する「交流機能」



外観イメージ

問合せ先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282（直通）



深川市議会YouTube
チャンネル



深川市議会
公式ホームページ

編集後記



令和6年第4回定例会では、教育や部活動、子育て支援など、子供に関する一般質問が多くあり、議員の関心の高さが表れていました。このような市議会を子供たちに少しでも知ってもらえるよう、本号では、こども向け「おしえてしぎかい」のページを設けました。深川の将来を担う子供たちに見ていただき、興味を持って欲しいと思います。市議会を間近で見ることでもありますので、傍聴にぜひお越しください。

広報編集委員 村上 誠